

シェムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
90

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シェムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

MoiMoi Life in Siem Reap

“School Inn” a different Cambodian experience

A “school inn” program was started half a year ago at Bayon Junior High school. Tourists spend the night at the school while sightseeing at the Angkor ruins. They are also invited to observe classes during the day and play sports with the students. After school participants are invited to visit students’ homes and experience rural life in Cambodia.

Most teachers can speak English and the JST staff can give support in Japanese. Morning and evening meals are Cambodian cuisine made with vegetables from the school garden. Participants are welcome to sleep in the classrooms, tents outside or in the dormitories. By all means please try this school inn and be greeted by 500 smiling faces of staff and students. (All proceeds go to the school’s operation. Contact JST for details)

“学泊”で一味違ったカンボジア体験

アンコール遺跡に一番(?)近い中学校・バイヨン中学校の生徒たちの憧れの職業の一つは、遺跡案内ガイドなど観光関連の職業に就くことです。そんな彼らの夢が少しでも実現できるよう、私たち JST

では、バイヨン中学校を将来、職業訓練校に発展できないかと日々模索を続けています。資金力がないため、できることから少しずつ実行するしかないので、インターン学生が日本語を教えたり、縫製の授業を行ったりと、様々な取り組みを始めているところです。中でも生徒たちにとって刺激になるのは、海外からの観光客や同世代の若者と直接触れ合うこと。校内には、カンボジアの農村生活を紹介する民俗学展示室や、アンコール遺跡を紹介する展示コーナーを作り、生徒たちが自国の文化や歴史を紹介できる準備を整え、積極的に交流の機会をつくっています。

そんなバイヨン中学校が半年前から始めたのが、民泊ならぬ“学泊”です。学校

に泊まりながらアンコール遺跡観光へ出かけ、その合間に授業参観をしたり、休みに時間に生徒たちとスポーツをしたり、放課後、生徒の家に遊びに行つて農村の生活に触れたり、遺跡だけでなくカンボジアの学校や農村生活をも丸ごと体験できる、まさに一石二鳥の試みとなっています。

先生方の多くは英語が話せ、JSTの日本語スタッフも要所要所で付くので、コミュニケーション面はご安心を。朝夕の食事は、学校菜園で収穫した採れたて野菜を中心にカンボジア料理を皆で作りました。夜は、教室の中に蚊帳を吊って寝るもよし、校舎の外にテントを張って寝るもよし、教員ドミトリーの二段ベッドで寝るもよし。鳥のさえずりとともに迎える翌朝7時、学校は朝礼と体操から始まります。バイヨン中学校でぜひ学泊体験を！500人の生徒と先生が皆さんを笑顔でお迎えます。

(収益金は学校運営資金に充てられます。詳しくはJSTまで)